

新年の
ご挨拶



一般財団法人 労働衛生協会
理事長 小川 純一

新年あけましておめでとうおめでとうございます

旧年中は格別のお引き立てを賜り深く御礼申しあげます。私ども一同無事新春を迎えられましたのは、ひとえに皆さまのご支援によるものと深く感謝しております。

さて、2020年に向けて政府が成長戦略として掲げる「未来投資戦略2018」においては「保険者によるデータを活用した健康づくり・疾病予防・重症化予防、健康経営の推進」として、企業と保険者の「コラボヘルス」を推進しております。当協会はその企業様・健康保険組合様の「健康経営」を支える総合健康管理機関として、常にプロ意識を持ち事業に取り組んで参ります。

具体的にはお客様のニーズに合った健康診断を提供するとともに、人とのつながりを重視した健康診断を行っていきます。その取り組みの為に、未来投資戦略にも掲げられているRPA（自動処理）を2017年より導入し、人が関わるべきところへ職員をきちんと配置し、ロボットで行える業務と切り分けして業務の効率化と人材の適正配置を行っています。今年も改革・改善を進めてお客様へより良いサービスを提供できるよう努めて参ります。また「高井戸東健診クリニック」「ほたるの里健診センター」においては地域の方々に今まで以上に「愛顧いただける施設になるように目指します。

今年からは新たな元号が始まる年です。新たな気持ちを持って、常に時代のニーズを掴み、そして「人」の力を最大限に活かしたサービスを提供できるよう事業を進めて参ります。

本年も引き続き、働く人々の健康を支え、地域に根付いた総合健康管理機関として事業を推進してまいりますので、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。